

情報化社会の今 子どもたちへ大人ができること



2023年度
一中校区
人権学習会

現代の子どもたちは、生まれたときにはすでにIT環境が普及しており、幼少期から多くの情報に触れる機会があり、デマ情報を信じ込んでしまう、SNSでのコミュニケーション上のトラブルに巻き込まれる、ネット通販や課金制のゲームなどを通じた決済の問題や個人情報の流出など、ネットの中に危険が数多くあるのが現状です。

こうした危険に子どもたちが巻き込まれないようにするためには、ネットリテラシーについて親自身がしっかりと理解し、子どもたちにわかりやすく教えることが必要です。

情報化社会を生きていく子どもたちへ大人ができることは、「これはダメ、あれはダメ」と一方的に禁止して従わせるのではなく、子どもたち自身の判断力や考える力を養っていける環境をつくることを目的とします。

日時：2023年9月1日（金）18:00～19:30

場所：高槻市立桃園小学校視聴覚室

569-0067 大阪府高槻市桃園町3番27号 TEL：072-671-1421

主催：高槻市立第一中学校 PTA

高槻市立高槻小学校 PTA

高槻市立桃園小学校 PTA

共催：高槻市教育委員会

講演テーマ： 情報化社会の今 子どもたちへ大人ができること

スマートフォンやゲーム、インターネット全般に関して、「これをやり続けるとどうなるか、その行動をとったときのメリット・デメリットは」など大人目線で考えられるリスクを理解し、子どもたちが必須である情報化社会へ地域全体で向き合って、安全な使い方を身に付け、気になることやトラブルが起こった際に適切な行動がとれる、そういったことを相談する場所などがあることも伝え、ひとりで抱え込んでしまわないよう教える。

対面でのやりとりがほぼ不要となる情報化社会では、相手の様子を見ながら会話することができず、良くも悪くもメールやチャットの内容がすべてとなります。そのため、理解できない内容であればきちんと確認する、誤解が生まれにくいよう気を付けてやりとりするなど、複雑だけれどこなさなければいけない作業も増えてきます。便利な反面、リスクは高くなりますが、これからの子どもたちには情報化社会への順応が必須です。

社会全体で向き合って、安全な使い方を身に付けられる環境をつくっていくことにつながる学習会をおこないます。

スポーツ遊び様
絵
教科



大阪多様性教育ネットワーク
共同代表 沖本 和子先生

吹田市立小学校の教員として集団づくり、多様性教育の実践に取り組んでこれ、数多くのご講演やワークショップ等で活躍されています。また、大阪府教育センターをはじめ、教職員向けの研修講師としてのご経験も多数お持ちです。

その他、大阪府人権教育研究協議会の夏季研究会における、子どもたち一人ひとりの多様性を互いに認め合える集団づくりや、子どもたちの学びのスタートを保障する教職員向け「ひらがな学習会」等での講演、各市町村の人権教育研究団体での講演や『教室はおもちゃばこ～教室に多様なもちあじを～』（解放出版社）などの執筆など、多方面でご活躍されています。

2023年一中校区人権学習会申込

情報化社会における子どもたちへ大人ができること



ご参加申し込みは こちらのQRコードより
ご入力をお願いします。

申込締め切り 8月25日まで



お問い合わせ

桃園小学校 PTA
touenshoupta@outlook.jp
まで